

令和3年第3回定例公安委員会会議録

開催日時 令和3年2月4日(木) 午前11時10分～午後5時15分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時20分

2 出席者

公安委員会 衣笠委員長 勝部委員 久本委員

警察本部 津田警察本部長 川島警務部長 柴田首席監察官
河本生活安全部長 長谷高刑事部長 保田交通部長
谷村警備部長 本庄警察学校長 濱口情報通信部長
細田警務部参事官 奥村郡家警察署長

(事務局等～松本公安委員会補佐室長、中田補佐、総務課員)

3 議題事項

交通規制の議決(第4期)(交通部)

警察本部

第4期の交通規制の議決は、信号機の廃止に伴うものが4か所、通学路の安全対策に伴うものが7か所、4区間、既存道路の安全対策に伴うものが7か所、1区間など、合計343か所、44区間である。

主なものは、信号機の廃止に伴うもののうち、八頭郡若桜町内の国道29号に設置している押しボタン式信号機は、現在、ほとんど利用されていないため廃止する。同所はカーブとなっており、横断歩道のみ残すと危険であるため廃止するが、新たに約100メートル先に横断歩道を設置する。

通学路の安全対策に伴うもののうち、東伯郡三朝町内の三朝中学校南側道路は、通学時間帯に多くの生徒が利用することから規制要望があり、30キロの最高速度規制を行う。そのほか、鳥取市福部町地内の通学路に横断歩道を新設等する。

決裁の後、新年度に入札を行う予定である。

委員

詳細について事前に説明を受けており、このとおり決裁する。計画どおりに進めることができるよう、引き続き対応をよろしく願います。

4 報告事項

- 2月補正予算案（警察関係）の概要（警務部）
- 令和3年度当初予算案（警察関係）の概要（警務部）
- 第16回「竹島の日」記念式典に対する鳥取県警察の対策（警備部）
- 郡家警察署の取組（活動）状況（郡家警察署）

（1）2月補正予算案（警察関係）の概要（警務部）

警察本部

2月補正予算案では、決算見込みに基づく職員人件費のほか、各種事務委託費や入札残等の不用額について、総額約3億9,752万円を減額補正する。

繰越明許費は、総額約1億2,752万円を設定する。内容は、警察職員宿舍の維持修繕工事の計画変更や入札不調等によるものや、道路拡幅工事の計画変更による交通信号機改修工事等が年度内の完了が困難となったほか、警察航空機の12月点検等整備委託において、追加整備を行う必要があることが判明し、年度内の完了が困難となったことから翌年度へ繰越する。

2月補正後の予算総額は、約166億3,414万円となる。

（2）令和3年度当初予算案（警察関係）の概要（警務部）

警察本部

令和3年度の当初予算案の要求総額は約171億6,953万円であり、今年度より約1億5,414万円の増加となる。

内訳は、職員人件費が73.7パーセントを占め約126億5,989万円、物件費は26.3パーセントで約45億964万円である。

事業の多くが既存の施策や事業の継続に伴うものであるが、3事業を新規に開始する。1つ目は、重要犯罪等の検挙と組織犯罪対策の推進に関するものとして、部外通訳人への通訳協力謝金制度を導入する。現在は、通訳・翻訳に対してのみ通訳謝金を支払いしているが、取調べ前の打合せや業務上の待機等にも通訳謝金の予算内で通訳協力謝金を支払う。2つ目は、警察犬について、現在は囑託警察犬のみ運用しているが、指導手や犬の高齢化等の理由により、今後、直轄警察犬を導入することとしており、令和4年度中に運用開始できるよう犬舎を新築整備

する。3つ目は、交通死亡事故抑止に資する総合対策の推進に関するものとして、車載式故障診断装置用スキャンツールを整備する。これは、衝突被害軽減ブレーキ等の先進技術を備えた自動車の普及に伴い、車両の異常が疑われる交通事故などについて客観的証拠に基づく捜査を適正に行うため、車両データを読み出しするツールを整備するものである。

県警察では、今後とも予算の適正執行と管理に努める。

(3) 第16回「竹島の日」記念式典に対する鳥取県警察の対策（警備部）

警察本部

今月22日、松江市内において「竹島の日」の記念式典が開催される。同式典には、来賓や関係団体、一般の方等が参加されるが、新型コロナウイルス感染症対策のため、例年の半分程度の参加見込みである。

警察では、同式典の開催に伴い、同記念行事に反対する活動家及びこれに抗議する右派系市民グループ等による不法事案の発生に備え、トラブル等の未然防止と地域住民の静穏確保等を目的として対策を推進することとしており、情勢に応じて、本県警察では警備対策室等を設置して対応する計画である。

委員

警察の立場として、安全を確保する面でバックアップし、有事の際は適切な対応をお願いする。

(4) 郡家警察署の取組（活動）状況（郡家警察署）

郡家警察署

当署では、コロナ禍における情報発信として、人との接触を減らして広報効果を上げるため、駐在所員が方言で特殊詐欺を説明する寸劇形式の動画を制作した。この動画は、YouTubeで配信するとともに、地域の会合で活用しており、被害防止に効果を上げている。また、被害者支援に関するものとして、「ひまわりの絆プロジェクト」を基に、当署オリジナル動画や紙芝居を作成し、交通安全講習等で活用している。このほか、署員の活動を紹介した「ふれあい広報パネル」を作成し、警察署の活動の魅力を発信している。

ワークライフバランス推進の取組として、兵庫県宍粟警察署と当署の女性職員による意見交換を行ったり、潜在的な貢献度等にも配慮して、署員の投票によりMVPと敢闘賞を署長表彰した。そのほか、男性署員が、育児中の女性署員に育児や家事について質問し、回答を得た内容をまとめて教養資料を作成した。

業務の合理化では、隠れた無駄を排除し、やめることをリストアップし、ペーパーレスの取組等を推進した。

若手育成の取組では、ステップアップセミナーを年に数回開催し、出席者の目標に対する自己診断結果を参考にしながら指導を継続している。

先月には、当署のマスコットキャラクター「ふくちゃん」の着ぐるみが完成したので、今後、広報やイベントで活用予定である。

引き続き、情勢の変化に対応しながら新しい視点で業務を推進していく。

委員

以前、特殊詐欺被害防止の動画を視聴したが、聞き慣れた方言で特殊詐欺の実例を説明されており、大変分かりやすいものだった。

職場の雰囲気づくりや署員とのコミュニケーションについて、どのような点に配慮しているか。

郡家警察署

署長室への敷居を低くし、話しやすい雰囲気にするのを心掛けているほか、署員と顔を合わせたら声を掛けるようにしている。署全体では、横の連携を図りながら施策を行うなど、署員同士の交流や話しやすい環境作りに配慮している。

委員

宍粟警察署との意見交換は、県を超えた良い取組だと思うが、そのほかにも何か行っているか。

郡家警察署

隣接警察署となるため、定期的に事案対応等の連携を図る訓練を実施している。

委員

署長表彰について、業務の中には、目立たない仕事や成果が見えにくい仕事もあるが、どれも大切な役割なので、そこにスポットを当てたことは非常に良いと思う。

委員

ステップアップセミナーはどのような内容か。

郡家警察署

キャリアアップに関することや、仕事のやりがいなどを踏まえた内容としている。

委員

組織の成長は、若手の成長なくしてはできない。良い取組だと思うので、今後も継続していただきたい。

5 その他

監察報告（警務部）

警察本部から監察報告がなされた。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取3件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

- ・ 2月補正予算案（警察関係）の概要
- ・ 令和3年度当初予算案（警察関係）の概要
- ・ 監察報告
- ・ 鳥取県道路交通法施行細則の一部改正
- ・ 第16回「竹島の日」記念式典に対する鳥取県警察の対策

4 報告事項

- ・ 人事案件
- ・ 訟務案件
- ・ 審査請求審理結果

5 決裁

- ・ 交通規制の議決（第4期）
- ・ 放置違反金納付命令等に関する事務処理規程の一部を改正する規程

6 行事

- ・公安委員会表彰授与
- ・視察（鑑識課）

7 公安委員会委員間の事前検討・協議等

8 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。